

# 卯月

〔うづき〕 令和3年4月

卯の花が随所で咲き乱れるので、卯月または卯の花月と言いました。

発行：北海道神社庁一区教化委員会

## 大神は哀れみ給ひ彼方より 御手を伸ばして迎えましけり

貞明皇后御歌

### 今月のことば

#### 大神は哀れみ給ひ彼方より 御手を伸ばして迎えましけり

貞明皇后御歌

大正天皇の皇后であられた貞明皇后は、大正十三年新年歌会始に際し「新年言志」と題して「あらたまの年の始に誓ふかな神ながらなる道をふまむ」と決意を新たにされた。それ以降御隠れになられるまで、神の道について約三十年間、古事記、日本書紀を通じて、神代のこと、神々のことについて深い御勉強をせられた。その神道に関する御歌は数百首に上っているが、そのうちで、この御歌は皇室の祖先天照大御神の御恵を信じ、これに任せ切られている御信仰を示されたものの一つである。

大神（天照大御神）は、私の拙くない心を哀れみ給い、向うから御手を伸ばして私を迎えて下さる。私はその御手にとられて、すべてを大御神にお任せ申し上げたいとの、大御神を信じ切った御心境が詠み上げられている。信仰とはまさにかくあるべきもので、その尊い見本をこの御歌のうちに見出すことが出来る。

（神道百言 一般財団法人神道文化会編より抜粋）

## 季節のまつり

### 入学

#### 決意も新たに 「氏神さま参り」

入学や就職、新学年、会社の年度始めなど生活環境が変わる時も、人生の大きな節目といえます。新しい何かが始まる躍動の月の始めに、氏神さまにお参りをし、今後のさらなる御加護をいただき、無事に過ごせるようお願いしましょう。



### 十三参

四月十三日

#### 大人への入り口に知恵や福を

数え年で十三歳になった男女が、福德と知恵が授かるようにお参りするならわしで、「知恵もうで」とか「知恵もらい」とも言われています。参拝の帰り道に後ろをふり向くと、授かった知恵を落とすという言い伝えもあります。十三参りは、もともと女の子のお祝いとして二百年ほど前に始まりましたが、十三歳という年齢は、男女共に肉体的にも精神的にも大人への変換期にあたり、少し不安定な時期でもあるため、親子ともども心身の健康をお願いしましょう。

関西地方ではさかんに行なわれています。

#### 熨斗袋、「のし」の起源は贈り物の象徴

神社で祈願を受ける際、お供えする熨斗袋の表書きは「初穂料」あるいは「玉串料」と書きます。

熨斗の起源は、昔、大変貴重な保存食であった「あわび（のしあわび）」「昆布（のし昆布）」を贈ったことが始まりです。相手の長寿を祈り、贈り物の象徴として、熨斗を添える風習が定着しました。「初穂料」は、秋に収穫されたその年初めの稲穂を神前にお供えしていたこと、「玉串料」はお参りの祭、神の枝に紙垂と麻を結び付けた玉串を神前にお供えするところからきています。

また、慶事の祭には、運が上がるように下側の折り返しを上、弔事の祭は、目を伏せた状態を表すように、上側の折り返しを上にくるようになっています。

なお、表書きをする場合に、慶事の場合は墨を濃くして書き、弔事の場合は墨を薄くして書くという習わしがあります。弔事に薄墨を使うのは、慶事や日常の場合には墨を濃く、力強く書くのに対して、逆に薄く書くことで、悲しみを示すためといえます。

### せいうんのこころざし 青雲之志

徳を磨いて、立派な人物になろうとする心。



はなみずき花水木

参考文献 『くらしと祭り百話』小野迪夫（神社新報社）

令和 3 年  
2021年

# 4 月

| 日                         | 月           | 火                 | 水                    | 木                          | 金                    | 土                  |
|---------------------------|-------------|-------------------|----------------------|----------------------------|----------------------|--------------------|
|                           |             |                   |                      | 1 先負<br>う                  | 2 仏滅<br>たつ           | 3 大安<br>神武天皇祭<br>み |
| 4 赤口<br>清明<br>三りんぼう<br>うま | 5 先勝<br>ひつじ | 6 友引<br>さる        | 7 先負<br>とり           | 8 仏滅<br>いぬ                 | 9 大安<br>る            | 10 赤口<br>ね         |
| 11 先勝<br>うし               | 12 先負<br>とら | 13 仏滅<br>う        | 14 大安<br>たつ          | 15 赤口<br>み                 | 16 先勝<br>三りんぼう<br>うま | 17 友引<br>土用<br>ひつじ |
| 18 先負<br>さる               | 19 仏滅<br>とり | 20 大安<br>穀雨<br>いぬ | 21 赤口<br>る           | 22 先勝<br>ね                 | 23 友引<br>うし          | 24 先負<br>とら        |
| 25 仏滅<br>う                | 26 大安<br>たつ | 27 赤口<br>み        | 28 先勝<br>三りんぼう<br>うま | 29 友引<br>● 昭和の日<br>昭和祭 ひつじ | 30 先負<br>さる          |                    |

## 二十四節気

【清明 せいめい】 … 四日

旧暦三月辰の月の正節で、このころになると、春気玲瓏として草木の花が咲き初め、万物に晴朗の気があふれてくるという意味です。

【穀雨 こくう】 … 二十日

旧暦三月辰の月の中気で、このころは春雨がひびくように降る日が多くなり、田畑をうるおしてその成長を助け、種まきの好期をもたらします。春の季節の最後の節気です。

## 六曜・選日

《六曜》

- 【先勝】 … 諸事急ぐことによし、午後よりわるし
  - 【友引】 … 朝夕よし、正午わるし、葬式を忌む
  - 【先負】 … 諸事静かなることによし、午後大吉
  - 【仏滅】 … 万事凶、患えば長びくおそれあり
  - 【大安】 … 何事をするのにも吉の日、大吉日
  - 【赤口】 … 諸事油断すべからず、正午のみ吉
- 《選日の吉凶》
- 【三りんぼう】 … 三隣亡日、普請始め、棟上大吉日

## 4月の交語・時縁の挨拶

春暖、春暖、春日、春風、春和  
 春眠、陽春、麗春、暮春、惜春  
 仲春、桜花、清和、桜花爛漫  
 春暖の候／うららかな好季節を  
 迎え／春たけなわ／春陽麗和の  
 好季節／春宵一刻千金の候／花  
 冷えの時節でございますが／若  
 葉萌えいつる頃・・・など

## 「鎮守の杜」

「日の大神の恵みを得て」

植物は、水と太陽のエネルギーを利用して光合成によって酸素と炭水化物を作り出します。

地上の生物はこの恩恵なしでは生きて行けません。そしてたくさんの植物が育っている森は、雨水を蓄え、蓄えられた水は森の養分を十分に吸収し川から海へと流れ込み、海藻が茂り魚たちの生きる場が創られています。まさに森は、天と地を結び太陽と水によって命を育む源です。私たちの祖先は、そのことを体験の中から学び、自然を神と崇めて来ました。

昔から神社の杜は「鎮守の杜」といわれ、神聖なものとして大切に保護してきました。境内は神々が宿り鎮まる杜であり、いろいろな意味で私たちに恵みを与えてくれる森なのです。自然の中に神々を感じる心を絶やすことなく「森」を守り、家族そろって「杜」へ参拝してみましょ。

## 安産祈願 4月の戌の日

8日(木)  
20日(火)

\*戌の日以外でも安産祈願のご奉仕しております。神社にお問い合わせください。

## 《29日 昭和の日》

激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いを致す日です。

● 祝祭日には国旗を掲げましょう